



2024年4月発行

### 能登半島地震から考える 千葉県の災害対策は大丈夫か？

千葉県は、市町村を補完するとして、必要量の10%を県内13カ所に備蓄しています。

佐倉市の情報は  
県政リポートを  
ご覧ください。



**トイレ** 避難所で一番困るのがトイレです。我慢すると健康被害に繋がります。

千葉県の備蓄 簡易トイレ 2900台

組み立て式で、水がなくても使用可能。袋をかぶせ、使用後に凝固剤を投入し、袋を廃棄。



川口えみの提案 ◆車で牽引するトイレトレーラーを県として確保。◆トイレは男女別にし、夜間照明、施錠、防犯ブザーなどを整備する。

◆仮設トイレやマンホールトイレは1基あたり50人になるよう増やす。(現状は1基あたり100人)

**水・食料** 復旧までの水の確保と、温かい食事が必要です。

千葉県の備蓄 ペットボトル(500ml)517,149本  
給水車13台。給水タンク(1m)やポリタンク(20l)。  
仮設給水栓(消火栓に設置して応急給水する)

クラッカー 353,456食

アルファ化米 174,164食

川口えみの提案 ◆地下に耐震性貯水槽を設置し、災害時はポンプで汲みあげ給水する。

◆キッチンカーが災害時に被災地に出動できるよう、県内事業者と連携して体制を整える。

**ベッド** 冷たい床に雑魚寝ではなく、プライバシーが保たれたベッドを！

千葉県の備蓄 段ボールベッド 800個

これに加え、発災時に事業者組合から提供されるよう協定締結済み。

川口えみの提案 ◆簡易ベッドや寝袋も備蓄し、トレーラーハウス等の整備を。

◆避難所となる体育館の断熱とエアコン設置を進める市町村へ、財政支援を。

◆防災職員・避難所運営委員に助成を増やし、女性の視点で避難所の見直しを。

その他

### 大盤振る舞いの県150周年記念事業

予算委員会で質問 昨年6月15日で千葉県は誕生150周年を迎えました。1年間、県全体で総額15億円以上(うち県補助金は4億円以上)の記念事業が進行中です。調べるうちに様々な疑問点が浮上してきました。

#### 《ここが問題！》

##### ◆県民参加がほぼない

特定の関係者に多額の契約金(A社は、2億6400万円、B社は2億5000万円)で企画運営を委託しており、県民の声が反映されていません。内房5市の音楽ライブチケットは、6,500円～9,800円と高額。

##### ◆不透明な点が多い

総合プロデューサーなど関係者の選考過程や運営会社の実体が不透明であり、県の明快な説明がない。

##### ◆領収書がいない

記念事業は各市町村と運営会社間の契約ですが、県は報告書だけを求め領収書は不要としています。

#### 【佐倉市の場合】

- ◆総額約4037万円のイベント。
  - ・城址公園での音楽ライブ(3月30日)
  - ・市内陶芸家の展覧会(終了)
  - ・城址公園の桜のライトアップ
- 市の持ち出しは2000万円以上。

◆城址公園の音楽ライブは、わずか1日の会場設営に1000万円、ドローン300台の15分間飛行に900万円。

◆ ◆ ◆  
県の予算委員会では、様々な疑問に対し明快な答弁はありませんでした。裏金問題でカネと政治が問われる今、税金の使い方を改めるべきです。



3月6日、困難を抱える女性の支援、東海第二原発の避難計画についても質問しました。



▲予算委員会の録画

### 鹿島川の砂州を撤去中 浸水被害を防ぐ



昨年9月、鹿島川に大きな砂州が出現。台風13号の大雨で流入した土砂が堆積したためです。

再び大雨が降れば、川の水があふれる恐れがあるため、県に、撤去工事を急ぐよう求めていました。

3月中旬に工事が始まり、8月末までに撤去が完了する予定です。

### 幕張メッセで武器見本市を開かないで



県の幕張メッセでは、過去4回武器見本市が開催され、来年5月に仮予約されていることが判明。ここで取引された武器はガザで殺戮に使われています。戦争に負担する武器見本市へのメッセ貸出は中止するよう県に求めています。

2月16日 メッセを武器見本市に貸し出さないよう求める要望書を県内政党等と県に提出。

### 児童養護施設を訪問



晴香園(松戸市)では、2歳～18歳の子ども34人が家庭生活に近い環境で暮らしています。外部からのショートステイの利用が多く、恒常的な支援に繋げる必要があります。(1月10日)

### 議会改革の要望書を提出



議員有志で、県議会議長宛に、常任委員会のインターネット配信と委員のオンライン出席要件の緩和、議会活性化委員会の設置、会派代表者会議の傍聴、長期欠席の議員の報酬の取扱いなど、改善を求める要望書を提出しました。

**意見書 原発の即時停止を求めます。(市民ネットワーク提出)**  
能登半島地震では、志賀原発の9キロ手前まで200～400mの海岸隆起が迫り、危機一髪でした。活断層の動きについては未解明の部分が多く、全ての原発が危ない状況です。(伊藤昌弘県議、入江晶子県議が反対)